この用紙は提出不要です

「治療内容報告書【総合医療保険(団体型)用】」による請求にあたって

「治療内容報告書」と「医療機関発行の領収証のコピー」をあわせて提出いただくことで、当社所定の診断書による証明に代えて請求できる場合があります。

治療内容報告書

+

医療機関発行の領収証のコピー

1. 「治療内容報告書」による請求ができる条件をご確認ください。

○以下の条件を全て満たす場合は「治療内容報告書」と「医療機関発行の領収証(コピー)」による請求が可能です

チェック欄	「治療内容報告書」と「医療機関発行の領収証(コピー)」の取扱条件						
	以下の治療に対する給付金請求であるとき ・入院 ・手術(ただし、1回の入院中に2回以上手術された場合は診断書をご提出ください) ・放射線治療 ○以下の請求につきましては、診断書の取寄せが必要となります。 ・先進医療を受けた場合						
	医療機関発行の領収証に、必要な情報 共通						
	保険契約加入*から1年経過後に、請求事由が発生したとき ○以下の請求につきましては、保険加入から1年以内でも請求が可能です。 ・けが・不慮の事故を原因とする請求 *加入とは、責任開始日(増額責任開始日を含む)のことをいいます						

- ※なお、ご提出いただいた「治療内容報告書」にてお支払可否が判断できない場合には、当社所定の「入院・手術・3大疾病等診断書(証明書)」 をご提出いただく場合があります。
- ◆公益財団法人日本骨髄バンク(以下、「日本骨髄バンク」といいます。)を通じて骨髄ドナーとして骨髄幹細胞の採取術を受けられた場合は、 入院・手術給付金のご請求にあたり、『入院・手術・3 大疾病等診断書(証明書)』に代えて、日本骨髄バンクが発行する『証明書 (骨髄バンクドナー給付用)』でご請求いただける場合があります。(詳しくは企業・団体の保険事務担当者または当社までご相談ください。)

この用紙は提出不要です

2. お支払の対象外となる手術についてご確認ください。

- ○<u>以下①~⑦の手術は手術給付金のお支払いの対象外</u>となります。
- ○受けられた手術が以下①~⑦の手術にあてはまらないことをご確認ください。

<正式な手術名がわからない場合>

病院にお問合わせいただくか、医療機関が発行する「手術同意書」または「診療明細書」でご確認ください。

		手術名	手術例	手術イメージ		手術名	手術例	手術イメージ
	①	(そうしょうしょり) 創傷 処理	切り傷等の傷口 を縫いあわせた。	傷口を織う	4	骨・軟骨また は関節の非観 血的または後 手的な整復術 ・整復固定術 および授動術	(脱臼等の治療で) 皮膚の上から手や 器具を使って骨や 関節のズレ等を元 に戻した。 (骨折等の治療で) メスを使わずに添え 木やギブス等で固 定した。	関節のズレを戻す「添え木」で固定
	2	皮膚切開術	皮膚等にできた 膿瘍(のうよう= うみ)を、皮膚 切開して体外に 出した。	「のうよう」を 切開	(5	外耳道 異物除去術	耳や鼻の中から 異物を専用の器 具で取出した。	耳の中の異物を取出す
)				6	鼻内異物 摘出術		
	3	デブリー ドマン	損傷(壊死等)した 組織や傷口の異物 等を除去してきれ いにした。	損傷した組織を除去	7) 抜歯手術	虫歯や親知らずを 抜いた。	虫歯や親知らずを抜く